

## 豊かな実りに感謝して！～新茶の摘み取り～

5月17日（金）新茶の摘み取りをしました。絶好の茶摘み日和に恵まれて、児童生徒は元気に茶摘み活動を行いました。この日、轟小学校の生徒さん32名も参加し、貴重な交流ができました。手摘みによる体験の後、保護者の指導をいただきながら機械による茶摘みも体験し、収穫の喜びを感じた生徒たちは、「思っていた以上に重労働だった。寒い時期から茶園作業を始めて、やっと収穫。やり遂げた気持がする！」と口々に感動を述べていました。

お茶は嬉野の名産であり、お茶づくりを中心とした農業は地元大野原の基幹産業でもあります。そのようなことから郷土を知り、郷土の産業に触れ、親の仕事について学ぶことは大切で、貴重なことと考えます。4月から始めた茶園作業の成果に生徒たちの表情も誇らしげに見えました。中学生にとっては、地域の伝統や産業に直接ふれることのできる貴重な時間になりました。

